

様式2

教 科	種 目	発 行 者
技術・家庭科	技術分野	開隆堂

調 査 項 目	意 見
1 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスで、小学校での学びが中学校での学びにつながることを示され、学習がつながるように配慮されている。また、各学習内容の中にある補助的な提示「リンク」により、他の題材等との関連が分かるように配慮されている。 ・「考えてみよう」「調べてみよう」「?」「話し合ってみよう」の提示があり、思考から判断や表現に至るように十分配慮されている。 ・作業内容が具体的なイラストや写真で提示され、実践的・体験的な学習を通して、思考が深まるように十分配慮されている。 ・木材の特徴を確かめる実験写真や、木材の繊維方向の強さのイラストが、材料の構造や使い方の工夫につながるように提示され、思考や判断をする機会が多くなるように十分配慮されている。
2 主体的な態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・加工作業の説明用の写真が豊富で、工具の握り方や力の加え方が分かるように作業者の目線で撮影された記載や力の入れ方等が補助的に記入され、主体的な学習につながるように十分配慮されている。 ・評価・活用を考えるワークシートの例が具体的に記載され、社会的・経済的・環境的な側面から分析し、思考を残すことができるようによく工夫されている。 ・木材の切断において、欠けた場合の修正方法の提示があり、個の状況に応じて対応ができるように配慮されている。 ・作業場面に応じたイラストがあったり、「安全」マークの提示があったりすることにより、安全指導や安全対策について注意点が一目で分かるように十分配慮されている。
3 「地域社会人」の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・木造建築物の錦帯橋の紹介や歴史年表から、日本が歩んできた技術的な進歩について想起することができるように工夫されている。また、プログラム教室を行う会社を設立した方の内容が掲載され、勤労観や職業観につながるように配慮されている。
4 印刷・造本	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の大きさや字間、行間だけでなく、色文字や背景色において淡い色合いを使う等、見やすくなるように工夫されている。 ・各学習内容の最初に目次が掲載されるとともに、木材の各部の名称や特徴を示す図に、イラストを使用することで、視覚的に特徴をとらえることができるように十分配慮されている。
5 総 評	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての項目に「考えてみよう」や「?」の提示があり、学習を深めたり生活での実践に生かしたりできるように工夫されている。 ・評価し活用する場面では、「社会と環境」、「産業と経済」の視点でまとめられ、今後の生活において、技術的な内容と関わりをもたせたり、持続可能な社会の在り方を考えさせたりすることができるように工夫されている。